



<来週の資金需給予想とイベント予定>

(単位: 億円)

日付	資金需給予想			主な要因	オペ期日	オペスタート	イベント
	銀行券要因	財政等要因	資金過不足				
11/21 (月)	▲ 100	+ 3,800	+ 3,700	国庫短期証券 発行・償還 (3M) 国庫短期証券 発行・償還 (1Y) 変動利付国債 償還 (15年)	国債補完供給 + 12,200	CP等買入 ▲ 600	
11/22 (火)	▲ 1,000	▲ 1,000	▲ 2,000			社債等買入 + 1,000	米: クリーブランド連銀総裁、あいさつ 米: セントルイス連銀総裁、講演 欧: 消費者信頼感指数 (11月)
11/23 (水)				祝日 (勤労感謝の日)			米: FOMC議事要旨 (11月1、2日両日開催分) 米: 新規失業保険申請件数 米: 新築住宅販売件数 (10月) 米: ミシガン大学消費者マインド指数 (11月)
11/24 (木)	トン	▲ 8,000	▲ 8,000	流動性供給	共通担保資金供給 ▲ 5,800		日: 全国百貨店売上高 (10月) 日: 工作機械受注 (10月) 日: 月例経済報告 (11月) 米: 株式・債券市場、休場 (感謝祭の祝日)
11/25 (金)	▲ 1,000	▲ 48,000	▲ 49,000	国庫短期証券 償還 (6M)			日: 東京CPI (11月) 米: 感謝祭翌日の金曜日「ブラックフライデー」 米: 株式・債券市場、短縮取引

<インターバンク>

日銀当座預金残高は週初490兆1,300億円から始まり、概ね横ばい圏で推移し、489兆3,100億円で越えた。

無担保コールON物は週を通して軟調な地合だった。同加重平均金利は14,15日共に△0.067%で推移し、11月積み期に入ってから調達意欲が限定的であったため、16日以降△0.071~△0.070%のレンジで取引された。

ターム物は1W~1Mを中心に△0.070%~△0.060%のレンジで出合が散見された。

来週の主な予定は、海外で23日にミシガン大学消費者マインド指数 (11月)、新築住宅販売件数 (10月) などがある。

[無担保コールレート]

	予想レンジ (%)
O/N	△0.087 ~ 0.001
1M	△0.070 ~ 0.020
2M	△0.010 ~ 0.050
3M	0.000 ~ 0.130
6M	0.000 ~ 0.150

<レボ>

足許GC取引は△0.08%台で始まり、週を通して△0.09%~△0.08%で推移した。週末は国庫短期証券3M、1Yの発行があったがレート水準に変化は見られなかった。SC取引は2年435~442回債、5年146~154回債、10年350~368回債、20年179~182回債、30年65~76回債、40年13~15回債などに引合いが多く見られた。

[オープン市場]

	予想レンジ (%)
現先 (on/1w)	△0.050 ~ 0.000
CP 3M	0.000 ~ 0.005

<CP>

今週の入札発行総額は約8,300億円で、週間償還額 (約5,200億円) を上回った。発行市場は、石油製品や電気業、陸運業等の幅広い業種で大型の発行が行われ、活況となった。発行残高は先週末の26兆6,094億円から、17日時点で26兆9,047億円に増加した。市場残高は引き続き高水準で推移しており、発行レートは、0%から小幅なプラス圏での出合いが中心となった。

来週の週間償還額は、約7,200億円となっている。発行市場は、祝日により営業日数が少ないものの、賞与や税払い目的の資金調達ニーズから、活況なマーケットを予想する。発行レートは、発行期間や発行残高等によりやや幅広いレンジでの出合いを予想する。25日に、CP等買入オペが4,000億円程度オファーされる予定となっている。

<TDB>

11月17日の1Y1121回債の入札は、最高落札利回り△0.0971% (前回債△0.1018%)、平均落札利回り△0.1001% (前回債△0.1098%) となった。11月18日の3M1122回債の入札は、最高落札利回り△0.1117% (前回債△0.1061%)、平均落札利回り△0.1165% (前回債△0.1113%) となった。

来週は25日に3M (1123回) の入札がある。